



「毎日が別荘気分!」

後悔しない ガーデンルームの 作り方。

recipe
1

落ち着いた雰囲気の前庭壁タイプのガーデンルーム。
リビングからの延長で、ゆっくりとくつろげる空間にしました。
アジアリゾート風を希望され、床はタイル貼り、
緑に囲まれた空間ができました。

知れば納得! プロの一言

ガーデンルーム、後悔しないためのポイントは。



ガーデンルームアドバイザー
北島

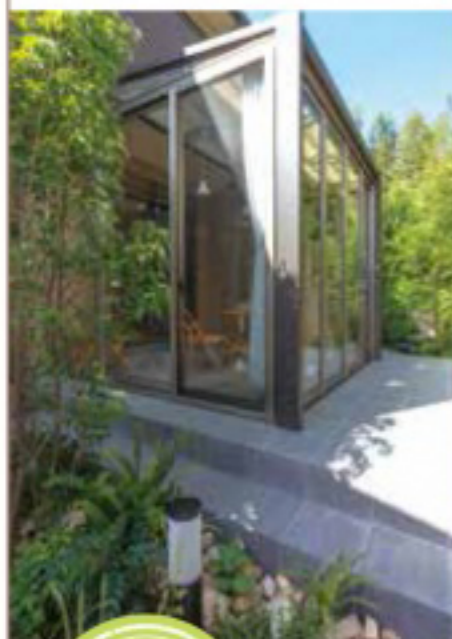
憧れのガーデンルームを作ったのに、いつの間にか物置になっていた…隣家から丸見えでゆっくりくつろげない…そんなことになればとても残念ですね。後悔しないガーデンルームを作るために、誰がどんな風に使いたいのか、どんな過ごし方(使い方)をしたいのか計画をしっかりとたてましょう。

物干し場にしたい、ワンちゃんの快適空間にしたい、家族で午後のティータイムの団らんをしたいなど、用途によって空調や照明、景観対策も大きく異なります。使いやすさや快適性を考え、湿気のももらない壁材や、消臭効果のある床材、暑さのこもりにくい建材など、プロならではの視点で素材選びのお手伝いをいたします。建物とのバランス、建築の知識を活かしたご提案で、ご家族が笑顔になれるガーデンルームをお作りいたします。



recipe
3

デッドスペースのお庭。デッキを付ける予定でしたがガーデンルームに変更。
タイルテラスと前面の目隠しもあわせてスタイリッシュな空間になりました。



recipe
2

モダン和風のお庭に合わせたガーデンルームです。

シックな色調のタイルテラス、植栽のグリーンを楽しめるよう全面ガラス仕様になりました。



広いお庭の場合、半分をガーデンルームにすることでお庭の手入れ、使い勝手がぐっと良くなります。



スリガラス調のポリカの目隠しなら、圧迫感がなく、しかも明るく光を取り込みます。



recipe
4

家族の思い出の木を残して、デッキをくりぬいて設置しました。木陰の涼しさを感じながらくつろげる空間です。